



No.	質 問	回 答
7	<p>1クラスの人数が決まっているので、統合してもクラス数が増えない場合もあるのか。</p>	<p>その場合もあります。現在、1クラスの子どもの数は、小学生と中学1年生は35人学級、中学2年生、3年生は40人学級となっています。現在、国において、1クラスの人数を見直す動きがあるため、その動向を注視しています。また、愛知県では、県議会の代表質問で、中学2年生、3年生の1クラス35人学級について、国より1年前倒しして進めていくと回答しています。</p>
8	<p>今後、検討が進んだ後に、協議会で議論していくと聞いた。中学校は統合する予定はないとのことだが、中学校含めた4校の関係者と検討していくのか。</p>	<p>各学校の意見交換会でいただいた意見を踏まえて、次の段階として、坂下中学校区全体で2回目の意見交換会を開催したいと考えています。その後は、坂下中学校を含めた4校の保護者、地域の代表の方や学校関係者などで構成する組織を立ちあげて検討していきます。</p>
9	<p>小学校の体育館は避難所に指定されているが、統合されるとどうなるのか。学校跡地はどうなるのか。</p> <p>今は保護者が学校に送迎しているケースが多く見られるので、駐車スペースも考えてほしい。</p> <p>また、検討にあたっては、未就学児の親の意見もしっかり聞いてほしい。</p>	<p>子どもたちの教育環境の向上を第一に考えて取り組む必要があると考えており、跡地に関することについては、別で検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>送迎スペースの確保については、バスの導入など通学手段を検討していく中で、保護者や学校の先生にも意見をいただきながら検討していきます。</p> <p>また、未就学児の保護者については、アンケート実施の際に保育園や幼稚園に協力いただき、意見を聞いてきました。今後も、園関係者や未就学児の保護者からも多くの意見を聞いていきたいと考えています。</p>

## イ 坂下小学校

No.	質 問	回 答
1	学年に1クラスなど、規模の小さい方が手厚く指導してもらうことができ、授業中も静かに授業を受けることができると思う。なぜ春日井市は複数クラスを推奨するのか。	<p>小規模校の方が、教員が一人ひとりの児童生徒の個別の学習状況や家庭状況を把握しやすい環境にあると承知しています。しかしながら、クラス替えができず人間関係が固定化しやすいことや、体育の球技や音楽の合唱など集団で行う授業に制約が生じるなどの課題があります。また、学年に関わる教員が1人だと児童生徒への関わり方が固定されてしまうことや、教員同士が切磋琢磨する環境が生まれにくいこともあります。</p> <p>これらのことから、本市は1学年に2学級以上を確保したうえで魅力ある学校づくりをめざしていこうと考えています。</p>
2	この先、協議会などを設置して検討する機会はあるのか。我々の意見はどのくらい反映されるのか。	各小中学校の皆様意見を聞き、一度フィードバックする機会を設けたいと思っています。今後の具体的な検討に関しては、保護者や地域の代表の方、学校関係者を含んだ協議会のようなものを設置し、検討していきたいと考えています。
3	学年に1クラスの小規模校でもうまくやっている県があると思う。小中学校の適正な規模等に関する他の市の事例はどうなっているのか。	文部科学省が2年に1度実施している「学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査」では、74%の市町村が課題を認識しており、そのうちの83%の市町村が対策の検討に着手しています。また、令和4年度に160校、令和5年度には132校が実際に統合して開校しています。岐阜の山間部の学校では学校が分散しているので統合が難しく、そのような学校は小規模校のメリットを活かし、デメリットを最小化するための教育環境の整備を文部科学省は推奨しています。基本的に小学校は1学年2から3クラスが望ましいと文部科学省が定めているため、本市もその考え方で検討しています。
4	小学校の1クラスあたり35人という基準から人数を減らすことでクラス替えができるようになるのではないのか。	本市の1学級あたりの人数は、愛知県の基準と同様に、小学校の全学年及び中学1年生は35人、中学校の2、3年生は40人としており、その基準をもって教員が配置されています。1学級あたりの子どもの数を減らしてクラス数を増やしても教員数が増えないため、市独自で学級数を定めることは難しいと考えています。
5	今後のスケジュールを教えてください。	現状、具体的な日程は決まっていません。今後、保護者や地域の方などの代表者を募り、協議会のようなものを設置した上で、坂下地区をどうするかを具体的に検討していく予定です。また学校を新たにつくったり、改修したりするとなると5年近くかかると想定されます。まずは市と皆様との合意形成を図り、スピード感をもって具体的なスケジュールを決定していきたいと考えています。
6	良い学校づくりのためにも具体的な案を提示してほしい。	今後、皆様と話し合いをしていく中で、魅力ある学校づくりをしていくための提案をさせていただきたいと考えています。皆様と話し合いを深め、地域に人が増えていくような、地域づくりに貢献できる新しい学校づくりをしていきたいと考えています。

No.	質問	回答
7	1学級あたりの人数は国や県が定めていると言っていたが、人数を減らせるよう県に要望したらよいと思う。市から国や県に要望する機会はないのか。	毎年、予算編成の時期などに合わせ、市長が愛知県の教育委員会へ直接出向き、教員の配置などについて県に要望する機会があります。
8	アンケートの内容について、「小中学校の適正な規模」など難しい表現が多くみられた。次回アンケートを実施するときはより具体的にわかりやすくしてほしい。	「小中学校の適正な規模や配置」という表現になってしまったのは「統合」だけでなく「通学区域変更」など、他の手法もあるという意味合いを含んでいたからです。現時点で、次のアンケートを実施することは未定ですが、今後、皆様に意見を聞く際には、誰が聞いても分かりやすい表現を用いることを意識したいと思います。
9	未就学児の保護者など、今後就学し、学校規模の適正化の影響を受けると考えられる世代にはアンケートを実施したのか。	坂下地区とニュータウン地区内の公私立保育園、私立幼稚園、認定こども園に協力をさせていただき、未就学児の保護者の皆様にアンケートの案内をさせていただきました。今回のアンケート結果には、未就学児の保護者からの回答結果も含まれています。
10	我々の意見は反映されるのか。この意見交換会の重要性はどれだけあるのか。重要であるなら地域の方をもっと巻き込んで意見を聞いた方がよいと思う。	全ての要望について実施できるとは約束できませんが、行政の視点と実際に地域に暮らしている方の視点は異なるので、皆様から直接意見をいただける場として大変有意義な場だと考えています。皆様からいただく多くの意見を参考に、多角的な議論に努めていきたいと考えています。
11	西尾小学校では適正化に対して賛成の割合が低い。その理由は。	アンケート結果を見ると、現時点で過小規模の学校は、賛成の割合が低い傾向にありました。ここからは我々の推測になりますが、現状の1クラスに満足していて、無理に複数学級にならなくてもよいという方もいるのではないかと考えています。
12	教員が対象のアンケートは実施したのか。	教員に対するアンケートは実施していませんが、先日、坂下小学校で、教員に説明してほしいとの要望があったので、市と教員との話し合いの場を設けました。今後も要望があれば、教員の意見を聞いていきたいと考えています。
13	意見を出し合って、一緒に考える機会をつくってほしい。	これからも、皆様と市とで協議する場をつくり、何回か開催したいと考えています。協議の中で様々な意見が出てくるとは思いますが、無理だと一蹴するのではなく、少しでも理想に近づけるような検討ができればと考えています。

## ウ 西尾小学校

No.	質 問	回 答
1	なぜ配布資料の児童生徒数推計には、特別支援学級の数字が入っていないのか。	文部科学省が定めている基準では、特別支援学級の数は学校の適正な規模等に関する学級数に含まないため、それに準じています。 決して特別支援学級のことを除外して考えているわけではありません。
2	複式学級のメリットとデメリットは何か。	メリットとしては、クラスの人数が少ないので、教員が子ども一人ひとりの状況を把握しやすくなります。 デメリットとしては、1人の教員が2学年分の授業やその準備を行う必要があり、教員への負担が大きくなることあげられます。子どもたちにとっても、教員が異なる学年の児童に対応した授業も行うことから、授業に制約が生じるなど、きめ細かな授業を受けられない可能性があります。
3	複式学級になった場合、他自治体の子どもと学力の差が出てしまうのではないのか。また、差が出てしまうと考えた保護者が引っ越ししてしまうと、西尾地区の過疎化が進むのではないのか。	学力に差が出るかどうかについて、明確なことは言えません。 西尾地区の人口減少に対して、心配される気持ちも分かります。他自治体の事例ですが、魅力ある学校づくりを進めることで、転入者が増え、地域の活性化が図られた例もあります。西尾地区においても、より良い教育環境の整備に尽力したいと考えています。
4	学校規模の適正化等を進めるにあたって、モデルとしている市はあるのか。また統合で成功している地域はあるのか。	近隣市において、現在、学校再編を進めている小牧市や、令和2年に学校統合した瀬戸市の「にじの丘学園」の例などを参考にしています。「にじの丘学園」のように、魅力ある学校をつくったことにより転入者が増え、地域の活性化につながった事例もあります。
5	統合のスケジュールは決まっているのか。以前、藤山台小学校が統合したときは、どのようなスケジュールであったのか。	現状、具体的なスケジュールは決まっていません。今後、具体的な内容が決まっていけば、それに合わせてスケジュールも決まっていくと思います。 なお、藤山台小学校の3校統合は、約5年の期間をかけて、まず藤山台小学校と藤山台東小学校の2校が統合し、次に西藤山台小学校と統合しました。
6	藤山台小学校の統合を進めた際、通学区域など問題になったことはあるか。	当時は統合を前提で地域説明会などを実施していたため、保護者や地域の方からは反対の意見が多くありました。通学区域については、新しい藤山台小学校までの通学距離が遠いという意見から、不二小学校に通学区域を変更した地域があります。
7	現段階で坂下中学校区での具体的な取組の構想はあるのか。	具体的な計画はまだ決まっていません。まずは、坂下中学校を含めた既存の4つの学校で適正規模の検討を進めていきたいと考えています。通学距離については、文部科学省が基準としている距離があるため、それも参考にし、通学手段を検討する必要があると認識しています。
8	バスの利用を検討する必要があるとのことだが、バスはどのような運用形態になるのか。	現状、具体的に決まっていません。他自治体では、既存のバス路線の利用や、スクールバスの導入の事例などがあります。また、スクールバスについても、市がバスを所有し直営で運用している事例や委託の事例もあるため、今後検討をしていく必要があります。

## エ 神屋小学校

No.	質 問	回 答
1	いつ頃から具体的な検討は始まるのか。	現状、具体的な日程は決まっていません。今後の具体的な検討に関しては、保護者や地域の方などから代表者を集め、協議会のようなものを立ち上げて具体的な検討を始めていきたいと考えています。
2	今のところ統合には賛成だが、子どもの通学距離が遠くなるのが心配である。バス利用の対象者の範囲など、具体的なことは決まっているのか。	バス利用対象者の範囲は未定です。バスの運用には、路線バスの利用や通学バスの導入など様々な形態が考えられます。今後、皆様からの意見をお聞きしながら検討していきたいと考えています。
3	統合以外の選択肢はあるのか。	子どもの数が全国的に減少する中、子どもたちには、市内のどの学校にいても平等な教育を受けてもらいたいと考えています。 適正規模の取組を進めるにあたり、規模の小さい学校同士では、通学区域の変更は学校規模の改善にはならないため、現在の学校数を残す選択肢は難しいと考えます。しかしながら、市だけで決定するのではなく、皆様の意見をお聞きしながら一緒に検討していきたいと考えています。
4	統合する場合、今より1学年の人数が増える。その影響で学童に入れるかが心配。受け入れの人数を増やすなどの対応はしてくれるのか。	子どもの家は、放課後児童の安全な居場所として重要であり、新しい学校で子どもの家が運営されることが、子どもの移動もなく望ましいと考えています。受け入れの状況については、市の西側の学校では3年生でも入れない場合があるなど、市内でも状況が異なっており、今後、学校の適正規模等の検討を進めていく中で、子どもの家の担当部署と連携し検討していきたいと考えています。
5	坂下中学校区は広いため、以前の藤山台小の統合とは違うプランが必要と考える。他自治体の統合例など何か参考しているものがあるのか。	瀬戸市の7つの学校を統合した「にじの丘学園」や、小牧市が現在、篠岡地区で進めている学校統合の事例を参考にしています。
6	統廃合ありきで進んでいると思うが、抽象的であると思う。複数案を提示するなど、具体的に示してほしい。	今回の意見交換会は、神屋小学校が適正な規模や配置となるように、具体的な検討を進めることに対してご理解を得たいと考えています。その後、具体的に検討を進めることとなりましたら、市から皆様にいくつかの案を提示するとともに、皆様からも意見をいただきながら検討を進めていきたいと考えています。
7	統合に向けての内容にしか取れない。なぜ統合とはっきり言えないのか。配布資料を読んでも統合に向けての話にしか取れない。	学校施設は、地域に密着した重要な施設であり、地域のシンボルでもあるため、段階的に議論を進めていくことが必要だと考えています。いくつかの学校を1つの適正な規模の学校にしたいという思いはありますが、一方的に決めることはよくないと考えており、皆様と意見交換を行った上で、今後の方針を決めていきたいと考えています。

No.	質 問	回 答
8	<p>まだ統合に関して確定はしていないと思うが、検討を進めていく中で、反対の意見も出ると思う。その際は、改めて統合に対して賛成や反対の検討をしてくれるのか、それとも、最初に統合と決定したらそのまま進めていくのか。検討の結果、最終的に取組を中止することはあるのか。</p>	<p>今後は、保護者や地域の方の代表者などを集めて、協議会のようなものを立ち上げ検討を進めていきたいと考えています。統合ありきではなく、様々な意見をいただきたいと考えています。そのため、今回のアンケート結果だけで、方向性を決定することはありません。</p>
9	<p>代表者を集めて協議会を立ち上げるということは、協議会に参加しないと意見は言えないのか。それともアンケートを取っていただけるのか、代表者を通さないと意見を伝えることはできないのか。</p>	<p>今後のアンケート実施については未定ですが、ご意見につきましては、協議会の代表を通じて言っただくほかにも、直接市に連絡していただくこともできます。いただいた意見は、協議会で報告させていただき、必要に応じて検討いたします。</p>
10	<p>協議会が設立された場合、協議会の内容について議事録をつくる予定はあるのか。藤山台小学校の統合の際には、どのような形で地域に情報が公開されていたのか。</p>	<p>藤山台小学校の統合の際には、市が「かわら版」という紙の報告書を作成し各世帯に配布することで、協議内容を地域に発信していました。</p> <p>協議会については、現時点ではメンバーなども決まっていますが、設置した場合には、協議内容の議事録を作成します。皆様への周知方法としては、保護者には学校情報配信アプリの Home&amp;School で配信し、未就学児の保護者には、園のシステムツールなどを使って配信することを考えています。地域の方には、区長・町内会長に協力いただき、回覧板などで周知していただくことを考えています。</p>
11	<p>学校は地域のシンボルという話があったが、地域には公民館などの公共施設もある。それらの機能を一体化し複合施設として、学校統合を進める考えはあるか。</p> <p>また、統合した後の跡地利用も考えて統合を検討する必要があると思うが、市役所の他の部署と連携して検討することはできるのか。</p>	<p>公共施設は、同時期に建設されたものが多く、同じように老朽化が進んでいます。今後の施設の維持管理費なども踏まえ、学校を公民館などの機能もあわせ持った複合施設とするのか、必要に応じて検討します。</p> <p>また、統合した後の跡地利用についても含め、検討の際には、他部署と調整しながら検討していきたいと考えています。</p>

(2) 第2回意見交換会

ア 坂下中学校区 (11月1日)

No.	質 問	回 答
1	<p>坂下小学校での意見交換会の質問の中で、小学校3つを統合し、新しい学校を坂下中学校につくると受け取ったが、小学校の校舎を中学校の敷地内に建てるとなると、運動場が半分となり狭くなるが子どもの成長の面などは大丈夫か。</p>	<p>統合する場合、どこの学校を使うかは決まっていません。今の坂下中学校の場所を使い小中一貫校を設置することも考えの一つとしてあることをお示ししています。</p>
2	<p>統合する場合、通学距離が遠くなる子が多くなると思うので、保護者が送迎することが多くなる。なかよし教室の利用など働いている保護者のことを考え、新しい学校をつくるときには駐車場や学校内の道路について検討してほしい。</p>	<p>第1回意見交換会でも、送迎について多くのご意見をいただきました。統合すると通学区域が広がるので、通学バスについて検討する必要があると考えており、あわせて学校内の駐車スペースについても検討していきたいと考えています。</p>
3	<p>基本方針案の検討の部分、通学バスの検討については関心が高い。検討するにあたって、いつまでどここの事例を参考に決めていくのか。</p>	<p>学校を統合するにあたって、どこの場所に統合した学校を設置するかによって、通学の距離が変わってきます。また、統合した場合、子ども全員がバス通学することは考えていません。ある一定の距離や坂などの地形も考慮し検討したいと考えているため、いつまでにとすることは決定していません。</p> <p>事例については、瀬戸市や小牧市の事例を参考にしており、瀬戸市では既存のバス路線を活用しています。他自治体の情報も皆様に提供していきながら、坂下中学校区の子どもたち、保護者の方たちにとって最善の方法を考えていきます。</p>
4	<p>通学バスについて、通学距離に加えて、下校時間なども考慮しないとイケない。学年別の下校時間など様々だと思うので、丁寧に考えてほしい。</p>	<p>学年で下校時間が異なるため、バスの便数などについても皆様と検討していきたいと考えています。</p>
5	<p>統合するにあたって、学童や通級指導教室、特別支援学級を心配している。子どもの数が増えることになるが、先生が子どもたちを適切に把握することができるか。</p> <p>また、統合するとなれば、遠距離になる子どももいることから、ウェブを利用した遠隔授業の方法もあると思うが、どのように考えているか。</p>	<p>学童については、放課後の児童が安全に過ごせる場として、子どもの数は減少傾向でも利用する方が増えています。子どもの家は、新しい学校において運営されることが望ましいと考えているので、子どもの家の担当部署と連携して検討していきたいと考えています。また、通級指導教室、特別支援学級については、統合すると子どもの人数が増え学級数も増えるので、クラス数に応じた教員が配置されます。</p> <p>統合が難しい学校では、ウェブを利用した遠隔授業や学校間の交流が検討されることもありますが、坂下中学校区は学校の統合を考えていることから検討していません。</p>

No.	質 問	回 答
6	どこに学校がつくられるにしても、子どもにも運転者にも安全面に配慮した通学路を設定してほしい。	通学について、保護者はアンケートの結果からも安全性を心配していることがうかがえます。新たな学校の通学路の設定については、子どもたち、運転者の安全に配慮したいと考えています。
7	統合することにより、子どもの数は増えるが、特別支援学級など個別支援が必要になるケースはどうなるのか。	特別支援学級は1学級8人以下で編成され、それに応じた教員が配置されます。本市では、個々の対応が必要になる場合は、市独自で県からの教員の配置とは別に支援員を配置する事業も行っています。支援員の配置の拡充なども、新しい学校づくりの検討の際にご意見やご要望をいただければと考えています。
8	開校まで最短でも5年くらい必要という話で、自分の子どもに影響がある可能性がある。詳細なスケジュールがわからないと不安である。第1回意見交換会から市の具体的な案がない。学校の場所がどこになるかで、住民の意見が変わると思う。具体的な案がないと何を意見したらよいか考えられない。場所やスケジュールを具体的に教えてほしい。	現在は学校統合に向けて意見交換をしている段階であり、具体的な案はありません。まずは基本方針の案を策定し、具体的なことはその後の懇談会で話し合っていきたいと考えています。令和8年度くらいには、ある程度詳細についてお示しできればと考えていますが、統合に向けた課題などによって、スケジュールが変わってくることもあると考えています。
9	新しい学校の場所や取組の時期など時間のかかる大がかりなことだと思う。検討では、地域性を考える必要がある中で、魅力ある学校づくりをどう考えているか。	統合するにあたり、悲観的に考えるのではなくて、将来の子どもたちのために魅力ある教育について検討し、地域の活性化も期待できる学校づくりを皆様と一緒に検討していきたいと考えています。
10	子どもが複数いて、小学校と保育園や幼稚園に通わせている保護者がいると思う。小学校と同じように保育園などはどう考えているか。	子どもの数が減る中でも、保育園に通わせたいという保護者は多くなっていると認識しています。公立保育園については、入園状況をみながら再編成をしていくことはあり得ますが、坂下地区の保育園がどうなるかは未定であり回答しかねます。
11	統合について決まっていない部分もあると思うが、子どもたちのケアのために、統合前に共同で運動会を実施するなど、統合する場合の子どもたちの負担についても配慮してもらいたい。	学校を統合するにあたり、子どもたちが不安を抱えないようにするため、統合する前に、学校間で子どもたちが交流できる機会を積極的に設けることなどを検討したいと考えています。
12	統合した後の廃校になる学校施設の活用方法を聞きたい。また、当該施設をバスの発着点としたり、学童として使ったりすることができないか。	跡地について、過去に藤山台地区で3校統合した際は、2校の跡地をグループふじとうとノキシタプレイスとして活用しています。教育委員会としては、子どもたちの教育環境の向上を検討し統合を進めていきたいと考えており、跡地については市全体で別に検討していきたいと考えています。 バスの発着点については、子どもたちの体力面の向上も考えて、全く歩かないことは避けたいと思っています。学童については、子どもたちが移動することがないように、新しい学校の中で運用されることが望ましいと考えていますが、いただいた意見も参考に今後検討していきたいと考えています。

No.	質 問	回 答
13	統合することにより、地域から学校がなくなることになる。跡地については、地域の今後に関わるので、学校がなくなることと同時に考えないと地域が廃れてしまう。西尾小学校のアンケート結果をみると、西尾地区の方々の意見をもっと聞いてほしい。急いで3校を統合することはどうかと思う。	統合することが決定したわけではありません。今後、懇談会の話し合いの中で、統合を進めてほしくないという総意があれば、見送る可能性もあります。西尾小学校区の方に限らず、坂下小学校や神屋小学校の方とも意見交換をしていく中で、皆様と協議させていただければと考えています。
14	統合する場合に体操服や上ぐつなどの学校用品が新しくなるとすると、現在の学校用品が無駄になるかもしれないので、連絡を早くしてほしい。	保護者の方に余分な負担が掛からないようにしたいと考えています。
15	低学年の子どもの気持ちや意見も聞いて、保護者と地域の方と情報共有してはどうか。	アンケートは小学3年生以上の子どもたちにご協力いただきました。今後、直接子どもたちから話を聞く場を設けて、保護者や地域の方と情報共有することについては、必要に応じて開催を検討したいと考えています。
16	今後、懇談会で協議していくとのことだが、市の企画部門の職員を構成員に入れることはできないか。バス路線や市のまちづくりについても考えることになるので、教育委員会だけでなく、市の企画部門の職員も参加してほしい。	跡地の活用やバスの運用、また学校が避難所になっていることなどもあり、今も市の関係部署とは情報共有を行っています。懇談会は地域の方のお話を聞く場ということに重きを置いているので、市の職員を構成員とするは考えていませんが、その時々議題などにより、必要に応じてオブザーバーとして参加依頼を検討したいと考えています。
17	統合については、子どもの環境が変わることや、先生が目が行き届かなくなるかもしれないなどの保護者にとって心配なことがあると思うが、意見交換会のことを知らない親がいた。今日の資料を学校から保護者に渡してもらおうとよいと思った。	今回の意見交換会については、保護者の方に学校情報配信アプリの Home&School を利用して周知させていただきました。紙の資料を保護者全員に配ることは難しいですが、データとして Home&School で送付することはできると思うので、今後の情報提供のあり方を検討していきたいと考えています。
18	スケジュールに関して、統合の目標時期を示してもらわないとスムーズに協議が進まないと思う。	市としては、子どもの数が減っていく現状の中、早く解決すべきと考えています。しかし、市が単独で統合を進めることはできないと考えていますので、皆様と意見交換をする中で、可能な限り早く取り組んでいきたいと考えています。
19	西尾小学校の周りは農地が多いが、その農地を宅地に変えることは制限されている。まちづくり全体を考えて、市の横のつながりをしっかりしてほしい。	市街化調整区域など都市計画の分野についても、当該計画を所管する部署との情報の連携を行っていきます。
20	統合の時期が決まらなないと、保護者は意見交換会に参加しようと思わない。市としての考えを示した上で、話し合いを進めた方が意見を出しやすいと思う。	市が一方的に決める進め方はよくないと思っているため、皆様と統合するかを含め意見交換をしたいと考えています。今後、懇談会で詳細について協議していきたいと考えています。

No.	質 問	回 答
21	懇談会は限られた方で構成されるとのことで、懇談会で場所などの詳細を決めることができ、意見交換会では決定できないというのであれば、意見交換会を開催する意味があるのか。	今回の取組については、子どもたちの数が減る中ですぐ取り組む必要があると考えていますが、ハードルが高い問題で皆様と丁寧に議論する必要があります。現在は、皆様からの意見を受け止めて検討する段階だと考えています。また、懇談会は詳細を決定する場ではなく、そこで挙げた意見も参考にしていきたいと考えています。なお、懇談会の構成員でなくとも、傍聴者として参加していただき、書面などで意見を出していただく方法も考えています。また、今後も必要に応じて、意見交換会を開催することも考えています。
22	場所の検討などについては、地域性がある話が集まらない可能性もある。学校区単位で話をまとめるのが先だと思うが、その機会を設けることについてはどう考えるか。	意見交換会や懇談会だけでなく、PTA役員や地域の方々との意見交換など、必要に応じてそれぞれの単位でも開催を検討したいと考えています。
23	小中一貫校について、小学校と中学校を同じ敷地につくることは大きな話だと思うので、このメリット、デメリットを検討してもらいたい。	小中一貫校については魅力ある学校づくりの一つの手法だと考えています。メリット、デメリットを検討し、皆様にお示ししながら、協議したいと考えています。
24	検討については、どのようなスケジュールで進められる予定か。パブリックコメントはどのように実施されるのか。	基本方針の案を策定した後に、パブリックコメントを坂下中学校区だけでなく、市全域に対して実施します。パブリックコメントは、市が政策などを決定する際に広く市民に意見を募るもので、インターネットの活用や公共施設での閲覧などで実施します。また、パブリックコメントの回答は公開します。実施は2月から3月を予定しており、その後、基本方針を策定します。基本方針の策定後に懇談会を開催していくことを考えており、懇談会は来年度の開催を予定しています。
25	市の具体案が示されていない。また、この取組について、各自治区の区長さんを集めて意見を聞いていない。意見交換会の周知のチラシについても、周知してほしい旨の依頼があってから、2週間では回覧できない場合もある。意見交換会をやるのであれば、議題を明確にして周知する必要があると思う。開催の仕方を考え直すべきだと思う。	意見交換会の開催や周知の方法については、ご意見を踏まえて進めていきたいと考えます。
26	他自治体の事例があるとのことだが、他自治体の説明会であった意見や事例を説明してもらおうと我々もイメージしやすい。同じ疑問点があると思う。	他自治体の担当者の方とは情報交換しています。そこで得た情報を皆様にも提供させていただき、共有したいと考えています。
27	意見交換会の3回目以降が開催されるのであれば、坂下中学校区的具体案を示した上で意見等をいただく方が議論が前進すると思うしスムーズに検討が進むと思う。	本日の意見交換会では、市として統合に向けて検討するという言葉を初めて使いました。本日いただいたご意見を踏まえて、市の具体的な考えを提示できるように進めていきたいと考えています。

イ 坂下中学校区（11月22日）

No.	質 問	回 答
1	統合には約5年かかるとのことだが、それは現在行われている意見交換会が始まった段階からなのか。それとも具体的な案が決定してからなのか。	仮に統合するとなったとして、既存の学校を使う場合、リニューアル工事をする場合、新しく校舎を建てる場合で期間が変わってきます。その中で大規模なリニューアル工事や新しく校舎を建てる場合、工事のための設計と工事の期間で概ね5年かかると予想しています。そのため、統合していくと決まってから5年かかると考えています。
2	ある福祉サービス事業者のバス送迎が運転手不足により中止すると連絡があった。このようなバスの運転手不足の中、通学手段としてバスを出すことを確約できるのか。	坂下中学校区は広いので、仮に3校統合するとなった場合、通学バスなどが必要になると考えています。運転手の確保については、市としても早めに動く必要があると考えています。現時点で確約は難しいですが、3校統合して、子どもたちが通学できないということがないように検討を進めていきます。
3	学校の統合を決定することと、地域の問題や通学バスなどの付随する問題を同時に検討していくのか。	子どもたちが利用する通学バスについては、統合と同時に検討する必要があると考えています。地域のまちづくりに関しても、子どもの教育環境を第一に考えていますが、あわせて地域の活性化の一環になればよいと考えています。学校の跡地などの問題に関しては、市と皆様で検討していきますが、跡地の活用方法が決まらないと学校の統合が進まないということは避けたいと考えています。
4	対象となる世代の保護者の方に、なるべく早く統合についてのビジョンを提示してほしい。また、西尾地区では、西尾小学校は指定避難所となっているので、学校がどのような使い方になるのかを早めに地域住民に知らせてほしい。	現時点では、坂下地区の3つの小学校の統合を具体的に検討していきたいということで、意見交換会を開催させていただいていますが、次の段階として、市の案を複数提示していきたいと考えています。また、皆様からもご提案をいただきながら、議論を進めていきたいと考えています。情報提供に関しても、随時お伝えしていきます。
5	私は現在の学校に満足しており、通学距離が遠くなる可能性がある統合案に賛成とは言えない。しかし、仮に自分の子どもが通っている学校で統合するとなった場合、環境は変わらないので賛成と考える。私のように考える保護者は多いと思うので、保護者の方が納得するように、魅力的な教育内容なども示してほしい。	市としても、ただ学校を統合するのではなく、統合にあわせて魅力ある学校づくり、また、まちづくりにつながるような学校づくりをしていきたいと考えています。今後統合していくとなった場合は、小中一貫校やICTを使った特色のある授業などについても議論していきたいと考えています。
6	前回の神屋小学校で開催された坂下中学校区における第2回意見交換会に参加された方は少ないと思うので、そこで出た意見を紹介した方が良く思う。	いくつか抜粋してご紹介します。通学について、「統合する場合、通学距離が遠くなる子が多くなると思うので、保護者が送迎することが多くなる。なかよし教室の利用など働いている保護者のことを考え、新しい学校をつくる際には駐車場や学校内の道路について検討してほしい。」というご意見をいただきました。それに対して「統合するとなると、通学区域が広がるので通学バスについて検討する必要があると考えており、あわせて学校内の駐車スペースについても検討していきたいと考えています。」と回答しています。また、「通学バスについて、通学距離に加えて、下校時間なども考慮しないといけない。学年別の下校時間など

No.	質 問	回 答
		<p>様々だと思うので、丁寧に考えていってほしい。」というご意見をいただきました。それに対して、「バスの便数などについても皆様と検討していきたいと考えています。」と回答しています。</p> <p>次に、「統合するにあたって、学童や通級指導教室、特別支援学級を心配している。子どもの数が増えることになるが、先生が子どもたちを適切に把握することができるか。」というご意見をいただきました。それに対して、「学童については、放課後の児童が安全に過ごせる場として、子どもの数は減少傾向でも利用する方が増えています。子どもの家は、新しい学校において運営されることが望ましいと考えているので、子どもの家の担当部署と連携して検討していきたいと考えています。また、通級指導教室、特別支援学級については、統合すると子どもの人数が増え学級数も増えるので、クラス数に応じた教員が配置されます。その点についてもしっかりと対応していきます。」と回答しています。</p> <p>「統合について決まっていない部分もあると思うが、子どもたちのケアのために、統合前に共同で運動会を実施するなど、統合する場合の子どもたちの負担についても配慮してもらいたい。」というご意見をいただきました。それに対して、「学校を統合するにあたり、子どもたちが不安を抱えないようにするため、統合する前に、学校間で子どもたちが交流できる機会を積極的に設けることなどを検討したいと考えています。」と回答しています。また、「統合した後の廃校になる学校施設の活用方法を聞きたい。また、当該施設をバスの発着点としたり、学童として使ったりすることができないか。」というご意見に対しては、「跡地について、過去に藤山台地区で3校統合した際は、2校の跡地をグループふじとうとノキシタプレイスとして活用しています。教育委員会としては、子どもたちの教育環境の向上を検討し統合を進めていきたいと考えており、跡地については市全体で別に検討していきたいと考えています。バスの発着点については、子どもたちの体力面の向上も考えて、全く歩かないことは避けたいと思っています。学童については、子どもたちが移動することがないように、新しい学校の中で運用されることが望ましいと考えていますが、いただいた意見も参考に今後検討していきたいと考えています。」と回答しています。</p> <p>他に「今後、懇談会で協議していくとのことだが、市の企画部門の職員を構成員に入れることはできないか。バス路線や市のまちづくりについても考えることになるので、教育委員会だけでなく、市の企画部門の職員も参加してほしい。」というご意見をいただきました。それに対して、「跡地の活用やバスの運用、また学校が避難所になっていることなどもあり、今も市の関係部署とは情報共有を行っています。懇談会は地域の方のお話を聞く場ということに重きを置いているので、市の職員を構成員とすることは考えていませんが、</p>

No.	質 問	回 答
		<p>その時々議の議題などにより、必要に応じてオブザーバーとして参加依頼を検討したいと考えています。」と回答しています。</p> <p>その他にも多くのご意見をいただきました。前回の意見交換会の内容は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。</p>
7	<p>仮に統合したとして、学童やなかよし教室を利用する児童で、行きはバスを利用するが、車を持っていないため、帰りは徒歩でないと学校に迎えに行くことができない保護者もいると思う。そのような保護者のことについても考えてほしい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。検討させていただきます。</p>
8	<p>意見交換会に外国籍の子の保護者の参加が見られなかった。学校には外国籍の子どもも多くいるので、意見を取り入れた方が良くと思う。</p> <p>また、意見交換会はあと何回開催されるのか聞きたい。</p>	<p>アンケートを実施した際に、全ての保護者の方にチラシや学校情報配信アプリのHome&amp;Schoolにてご案内させていただきました。その中で、神屋小学校から外国籍の保護者の方が難しい文章だと分からない可能性があるというご指摘をいただいたので、分かりやすい文章でチラシを作成しお渡ししました。回答がどのくらい反映されているかは把握できていませんが、今後も多くの方からの意見を聞けるように取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>意見交換会につきまして、2回目の意見交換会を終えた後には、市で坂下中学校区の基本方針案を作成したいと考えています。基本方針案には、坂下地区だけではなく全市的に皆様から広く意見をいただき、回答を公表するというパブリックコメントを実施します。その後は、保護者や地域の代表の方を集めた懇談会を開催させていただこうと考えています。また、必要に応じて意見交換会も開催していきたいと思っています。</p>

## 2 坂下中学校区図

